

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年4月15日
【四半期会計期間】	第19期第3四半期（自 2018年12月1日 至 2019年2月28日）
【会社名】	サイバーステップ株式会社
【英訳名】	CyberStep, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 類
【本店の所在の場所】	東京都杉並区和泉一丁目22番19号
【電話番号】	03-5355-2085（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理室長 緒方 淳一
【最寄りの連絡場所】	東京都杉並区和泉一丁目22番19号
【電話番号】	03-5355-2085（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理室長 緒方 淳一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第18期 第3四半期 連結累計期間	第19期 第3四半期 連結累計期間	第18期
会計期間	自2017年 6月1日 至2018年 2月28日	自2018年 6月1日 至2019年 2月28日	自2017年 6月1日 至2018年 5月31日
売上高 (千円)	4,859,791	8,347,707	7,174,986
経常利益又は経常損失 () (千円)	474,858	80,455	563,783
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 () (千円)	374,996	407,691	448,924
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	368,371	402,705	444,889
純資産額 (千円)	2,159,960	3,332,530	2,532,767
総資産額 (千円)	2,835,625	4,308,146	3,480,103
1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失 () (円)	64.92	61.56	76.95
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	57.72	-	62.45
自己資本比率 (%)	72.0	74.1	68.7

回次	第18期 第3四半期 連結会計期間	第19期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2017年 12月1日 至2018年 2月28日	自2018年 12月1日 至2019年 2月28日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 () (円)	27.42	39.38

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等を含めておりません。

3. 第19期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調にあります。米中貿易摩擦の動向や世界経済の減速懸念等、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

わが国のオンラインゲーム市場においては、引き続きユーザー数は伸びているものの、提供タイトルが増加しており、ユーザーの獲得競争が続いております。また、ソーシャルネットワークサービスやWebブラウザゲームなどが幅広い層へと広がっており、引き続き事業環境の変化が続いております。

このような環境の中、当社グループの既存サービスにつきましては、引き続きユーザーの満足度を意識したサービス体制の構築と事業拡大を進め、新規サービスにおいてはその開発に注力してまいりました。

現在、主力サービスであるクレーンゲームアプリ「トレバ」においては、埼玉県草加市の新拠点を含め、計6か所の拠点にて約1,400台規模のサービス体制を構築しており、当第3四半期連結累計期間中におきましても、国内外にて集客力のある様々なプロモーション媒体を活用したことにより2019年1月には1,000万ダウンロードを突破いたしました。また、「トレバ」限定のオリジナル商品の積極的な投入や、インフルエンサーとのコラボ企画などの影響により売上高は好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,347百万円となり、前年同期に比べ、71.8%の増収となりました。

利益面につきましては、「トレバ」事業の拡大に伴う、人件費、運営費用、配送の健全化にかかった費用、「トレバ」及び新規タイトルプロモーション費用それぞれの増加が生じたことや、一部タイトルについて当初予定していた収益を見込めなくなったことによる減損損失271百万円を特別損失に計上したことが影響し、この結果、営業損失4百万円（前年同期は営業利益480百万円）、経常損失80百万円（前年同期は経常利益474百万円）、税金等調整前四半期純損失353百万円（前年同期は税金等調整前四半期純利益475百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失407百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益374百万円）となりました。

当社グループはオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ828百万円増加し、4,308百万円となりました。これは主に、無形固定資産266百万円の減少があった一方で、現金及び預金568百万円、売掛金211百万円、有形固定資産106百万円の増加が生じたことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し、975百万円となりました。これは主に、未払法人税等64百万円の減少があった一方で、未払金129百万円の増加が生じたことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ799百万円増加し、3,332百万円となりました。これは主に、利益剰余金が407百万円の減少があった一方で、資本金600百万円、資本剰余金600百万円の増加が生じたことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は100百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,400,000
計	19,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年2月28日)	提出日現在発行数(株) (2019年4月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,785,201	6,786,301	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100 株であります。
計	6,785,201	6,786,301	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2019年4月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2018年12月1日～ 2019年2月28日 (注)	89,700	6,785,201	23,949	1,993,583	23,949	1,058,373

(注)新株予約権の権利行使による増加であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2018年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式6,692,900	66,929	-
単元未満株式	普通株式 2,501	-	-
発行済株式総数	6,695,501	-	-
総株主の議決権	-	66,929	-

(注) 単元未満株式の欄には、自己株式が59株含まれております。

【自己株式等】

2019年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サイバーステップ株式会社	東京都杉並区和泉一丁目22番19号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2018年12月1日から2019年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年6月1日から2019年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、アスカ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,385	2,008,519
売掛金	428,864	640,138
商品	487	2,224
仕掛品	21,266	8,522
貯蔵品	351,556	439,026
その他	272,545	332,739
貸倒引当金	18,013	22,361
流動資産合計	2,497,091	3,408,809
固定資産		
有形固定資産	386,667	493,407
無形固定資産	333,202	66,513
投資その他の資産		
その他	263,142	349,410
貸倒引当金	-	9,995
投資その他の資産合計	263,142	339,415
固定資産合計	983,012	899,337
資産合計	3,480,103	4,308,146
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,209	1,131
1年内返済予定の長期借入金	35,975	26,367
未払金	547,629	677,278
未払費用	123,219	138,553
未払法人税等	93,992	29,675
預り金	7,297	15,066
その他	93,607	59,921
流動負債合計	902,931	947,994
固定負債		
長期借入金	36,917	18,053
退職給付に係る負債	7,487	9,568
固定負債合計	44,404	27,621
負債合計	947,336	975,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,392,694	1,993,583
資本剰余金	457,484	1,058,373
利益剰余金	530,550	122,859
自己株式	372	419
株主資本合計	2,380,356	3,174,396
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,755	16,741
その他の包括利益累計額合計	11,755	16,741
新株予約権	140,655	141,392
純資産合計	2,532,767	3,332,530
負債純資産合計	3,480,103	4,308,146

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
売上高	4,859,791	8,347,707
売上原価	588,346	1,555,994
売上総利益	4,271,444	6,791,712
販売費及び一般管理費	3,790,931	6,796,102
営業利益又は営業損失()	480,512	4,389
営業外収益		
受取利息	526	327
為替差益	16,719	-
出資分配金	-	8,046
その他	3,526	1,115
営業外収益合計	20,772	9,489
営業外費用		
支払利息	1,384	842
新株予約権発行費	8,569	-
外国源泉税	12,251	17,168
為替差損	-	28,712
貸倒引当金繰入額	2,194	9,995
出資金償却	-	15,254
その他	2,025	13,582
営業外費用合計	26,426	85,554
経常利益又は経常損失()	474,858	80,455
特別利益		
新株予約権戻入益	2,152	873
特別利益合計	2,152	873
特別損失		
固定資産除却損	228	-
関係会社株式評価損	1,003	1,987
減損損失	-	271,943
特別損失合計	1,232	273,930
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	475,778	353,512
法人税、住民税及び事業税	100,782	54,178
法人税等合計	100,782	54,178
四半期純利益又は四半期純損失()	374,996	407,691
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	374,996	407,691

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失()	374,996	407,691
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,624	4,986
その他の包括利益合計	6,624	4,986
四半期包括利益	368,371	402,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,371	402,705
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
減価償却費	111,713千円	267,942千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ236,568千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は1,255,231千円、資本剰余金は320,021千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ600,889千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は1,993,583千円、資本剰余金は1,058,373千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	64円92銭	61円56銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	374,996	407,691
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	374,996	407,691
普通株式の期中平均株式数(株)	5,776,235	6,622,287
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	57円72銭	-
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	720,361	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年4月15日

サイバーステップ株式会社

取締役会 御中

アスカ監査法人

指 定 社 員 公認会計士 若 尾 典 邦
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 石 渡 裕 一 朗
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイバーステップ株式会社の2018年6月1日から2019年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2018年12月1日から2019年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年6月1日から2019年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイバーステップ株式会社及び連結子会社の2019年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。